

I 学校の教育目標

夢や目標の実現に向け、主体的に学び、仲間と協働し、共に高め合う生徒の育成

II 育成を目指す資質・能力

『 問題発見・解決能力 』

IV 学校評価4点セットの学力の重点目標

基礎学力の定着、「対話する力」の育成、課題解決を図る意欲や力の育成

V 学校評価4点セットの学力に関する達成指標

・学期末テストの「知識・技能」の問題における5教科の正答率＊50％未満の生徒の割合の平均が20％以内
・学期末テストの「思考・判断・表現」の問題における正答率＊5教科の正答率が30％未満の生徒の割合の平均が20％以内
・生徒による授業評価「小集団(ペア)の話し合いで、自分の考えを友達に伝えることができたか」肯定的評価68％以上
・生徒による授業評価「対話を通して考えを深めたりすることができた」＊肯定的評価68％以上

VI 授業改善の取組（「授業改善の5点セット」目標達成に向けた組織的な授業改善）

①授業改善 テーマ	・対話により、問題発見・解決能力を向上させる授業づくり ・問題発見・解決能力を向上させるための単元計画の作成と活用
②授業改善の 重点	・メンターチームを利用した授業改善 ・教科部会の効果的な活用による授業改善

（研究仮説）

対話する力と課題解決力の育成に、メンターチームと教科部会を組織し、効果的に活用することで、若手教員の授業力の向上、ベテラン教員の自己有用感の向上、リーダーのマネジメント力の向上かつ授業力向上と学校組織の活性化が図られ、結果として生徒の学力が向上するであろう。

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証（成果・課題）
1 学 期	・メンターチームを活用した授業改善 ・教科部会を活用した授業改善目標の明確化と単元計画の作成 ・対話を利用した授業の実践	・授業者は、学期に1回以上メンターチーム活用による授業改善を行い、「授業実践交流会」で共有する。 ・授業者は、単元に2回以上、「対話的な学び」を主とした授業を実践する。 ・授業者は、月に1回の教科部会を実施し授業改善を行う。	生徒による授業評価 ①「生徒による授業評価「対話を通して考えを深めたりすることができた」＊肯定的評価68％以上 ②学期末テストの「思考・判断・表現」の問題における正答率＊5教科の正答率が30％未満の生徒の割合の平均が20％以内	

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証（成果・課題）
2 学 期				

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証（成果・課題）
3 学 期				

様式（行、列、セル等）の変更は行わないでください

III 児童・生徒の課題

学力状況について							学習状況について	
児童・ 課題 生徒 の	2024年度末1月市学テ正答率						学年によって、家庭学習の定着に課題がある。（否定的回答割合） ◎ 家で勉強するときは、自分で計画を立てていますか 16.00% 「対話」について肯定的回答の割合が高くない。（肯定的回答割合） ◎ 授業で積極的に対話をしていますか 43.50% ◎ 対話によって、学びを深めていますか 66.10%	
		国	社	数	理	英		
	2年	68	53	60	48	57		
	3年	60	43	49	41	41		
1月市学テの結果は左の通りで、赤部に課題がみられる。								

VII 学習定着状況の把握とフォローの取組 および
個に応じた学習の取組（補充学習・習熟度別指導等） ※評価はプルダウンで選択

	重点的取組	取組指標	評価
1 学 期	・単元テストによる補充学習を実施する。 ・毎時間を基本とし、AIDリルを活用して3分前学習を行う。 ・家庭学習におけるAIDリルの活用。	・単元テスト後に、教科・学年部で補充学習に取り組む。 ・毎日キュビナを家庭学習に課す。生徒は、平日10分、個に応じた内容を選び学習する。	
2 学 期			
3 学 期			

◎＝達成（10割以上）、○＝概ね達成（8割以上）、△＝やや未達成（6割以上）、×＝未達成（6割未満）

VIII 学校・家庭・地域の協働の取組 ※評価はプルダウンで選択

	重点的取組	取組指標	評 価	1 学 期	2 学 期	3 学 期
家 庭	・家庭での学習習慣の確立	・保護者はテスト期間中、「テスト計画表」により子どもの学習時間の把握と指導をするとともに保護者チェック欄にサインする。				
地 域	・読書活動の推進	・外部ボランティアは、月に1回程度、読み聞かせを実施する。				

◎＝達成（10割以上）、○＝概ね達成（8割以上）、△＝やや未達成（6割以上）、×＝未達成（6割未満）

IX 令和7年度日田市アクションプランの達成指標・取組指標

1 学校評価4点セットの達成状況

令和7年度学校評価の4点セット 達成指標（学力）の評価	1学期	2学期	3学期	※学期末の評価を1～4で入力 （達成指標が複数ある場合は、平均を四捨五入した数値）

※プルダウンで数値を選択

2 取組指標

① 「新大分スタンダード」と自校の【③取組内容】に基づいて、単元計画と本時案（略案）を作成して、授業を担当する全教員が11月までに公開授業（互見授業含む）を実施する。	授業担当者数 12人	授業を公開した教員の割合	
		7月末時点	11月末時点
		%	%

※割合（％）は四捨五入して整数表示

② 管理職または教務主任等は、授業観察シートをもとに、経験の浅い教員（採用10年以内）1人に対し学期に3回以上授業観察を行う。	1 学 期		2 学 期		3 学 期	
---	-------------	--	-------------	--	-------------	--

※プルダウンで○、×を選択

③ 計画的に互見授業を実施し、全教員が学期に1回以上自校の教員の授業を参観する（校内研を除く）。	1 学 期		2 学 期		3 学 期	
--	-------------	--	-------------	--	-------------	--

※プルダウンで○、×を選択